

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

昭和56年8月3日

第17報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	80		
(藍) <i>Chroococcus</i> sp.*	120		
(藍) <i>Anabaena macrospora</i> var. <i>crassa</i> *	120		
(藍) <i>Anabaena</i> sp.*	40		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	240		
(珪) <i>Melosira italica</i>	80		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	80		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(緑) <i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	1280	○	
(緑) <i>Oocystis</i> sp.	80		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	5120	◎	◎
(緑) <i>Coelastrum microporum</i>	320		
(緑) <i>Actinastrum hantzschii</i>	500		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	20		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	80		○
(藍) 藍藻綱	360	4.4	9.9
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	400	4.9	4.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	80	1.0	1.3
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	7400	89.8	84.5
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	8240	総体積	1.07E+07
種 類 数	15	( $\mu\text{m}^3$ )	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし\*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

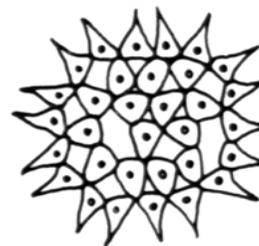
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	5120

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	1280

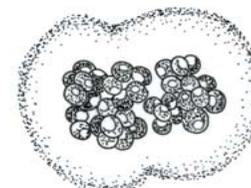
### 植物プランクトン第1優占種



***Pediastrum biwae***  
(ビワクンショウモ)  
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ビワクンショウモと呼ばれている。

### 植物プランクトン第2優占種



***Planktosphaeria gelatinosa***  
(プランクトスフェリア)  
緑藻綱

細胞は球形。若い細胞は杯状の葉緑体と1個のピレノイドを持つ。厚い寒天質に包まれた群体をなす。